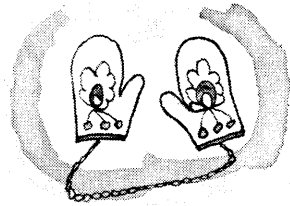


## 子どもの興味と母親の態度



### 問題

幼児の生活は、食事・睡眠・排泄などの生理的生活以外の時間を、すべて遊びや仕事に費やしている。しかも、幼児は仕事でさえも遊びの一種と考えてしまう。遊びは幼児の成長を助け、興味を増し、興味は生活に積極性をもたらす。興味の示し方は、それぞれみな違う。遊び時間・遊び場所・遊び道具などの地理的・物的環境や、遊び仲間のような人的環境に左右される。興味の深さは、一時的だったり、長時間熱中することもある。いずれの場合も、子どもの興味に対して「親がどんな態度で接するか・どの程度の関心をもつか」によって、遊びの発展や心身の成長が大きく影響されるだけでなく、その力は幼児の人格形

## 西本 美<sup>み</sup>節<sup>よ</sup>

成にまで及ぶ。核家族だけでなく、連帯感の薄い社会環境の中におかれている現代の幼児は、母親の言動から強い影響を受けることになる。生活の立場が違う母親と子どもとでは、子どもの興味と母親の要求とが合致することはむずかしい。また、母親の幼いころの育てられ方や、現代の社会的・経済的・精神的地位によっても、幼児に与える影響は異なるだろう。したがって、生活環境の要求による母親の言動に、幼児が抑圧を感じてはいないだろうか。逆に母親が幼児の興味の本質を知らずに、放任してはいないだろうか。

### 方法

幼児が何に興味をもっているか、その動機・時期・持続時間

第一表 地域別

|    | 住宅地  | 郊外住宅 | 団地  | 農漁村  | 商店街 | 工場地帯 | その他 | 合計   |
|----|------|------|-----|------|-----|------|-----|------|
| 実数 | 151  | 12   | 20  | 27   | 19  | 1    | 25  | 255  |
| %  | 59.2 | 4.7  | 7.8 | 10.6 | 7.5 | 0.4  | 9.8 | 100% |

第二表 職業別

|    | 教師  | 商業   | サラリーマン | 技術  | 熟練  | 農業  | その他 | 合計   |
|----|-----|------|--------|-----|-----|-----|-----|------|
| 実数 | 15  | 33   | 151    | 8   | 19  | 8   | 21  | 255  |
| %  | 5.9 | 12.9 | 59.2   | 3.1 | 7.5 | 3.1 | 8.3 | 100% |

第三表 子どもの年齢別・性別人数

| 年齢別<br>性別 |  | 3歳児  | 4歳児 | 5歳児 | 合計   |
|-----------|--|------|-----|-----|------|
|           |  | 男児   | 44人 | 43人 | 46人  |
| 女児        |  | 60   | 35人 | 27人 | 122人 |
| 合計        |  | 104人 | 78人 | 73人 | 255人 |

結果

一、母親との面接で得た幼児の興味について

(1) 幼児の興味について、男児では、ミニカー・怪獣人形・プラモデル・積木などのほか、昆虫に興味を示し、自動車(実物)などの機械類にも興味をもち、構成遊びには興味をもっているが、室内遊びでスケールが小さく、自己中心的な遊びが多い。女児では人形・ままごと・紙細工のほか、砂遊びや鉄棒・ボール・自転車など運動遊びに興味があり、遊び相手を求めて、連合的協同遊びをしている。TVについては、既に「TV視聴に

・興味の内容に対する生活の影響・現在の興味・以前の興味など七項目について、その母親に面接質問した。また、これとは別に現実の母子関係を知るために、幼児が一番興味をもっていることに対する母親の接し方(態度)を観察し、幼児と母親の言動を十五分間にわたって記録し分析した。いずれの場合も、調査対象者と家族的に親しくなり、調査されていると意識させないよう配慮した。調査は昭和四十七年五月から十月までに実施し、対象となったのは阪神地区に住む二五五組の親子である。その地域別・職業別・対象幼児の年齢別・性別・人数の内訳は第一表・第二表・第三表に示したとおりである。

第四表 子どもが興味をもっているもの

|   | 種 類                         | 男 児  | 女 児  | 3 歳児 | 4 歳児 | 5 歳児 | 全 体  |
|---|-----------------------------|------|------|------|------|------|------|
| A | a. ミニカー・汽車・鉄砲               | %    | %    | %    | %    | %    | %    |
|   | b. 怪獣人形                     | 26.6 | 15.2 | 23.3 | 22.4 | 16.2 | 20.8 |
|   | c. 人 形                      |      |      |      |      |      |      |
|   | d. ままごと など                  |      |      |      |      |      |      |
| B | プラモデル                       |      |      |      |      |      |      |
|   | 積木・ブロック・砂遊び<br>水遊び・粘土・折紙・切紙 | 22.9 | 23.2 | 24.4 | 23.9 | 20.6 | 23.1 |
| C | 文字・ローマ字・数・時計など              | 6.4  | 8.0  | 4.6  | 3.0  | 14.7 | 7.2  |
| D | TV など                       | 11.9 | 5.3  | 10.5 | 7.4  | 7.3  | 8.6  |
| E | 絵本・百科図鑑 など                  | 8.3  | 9.8  | 7.0  | 11.9 | 8.8  | 9.0  |
| F | ピアノ・オルガン・歌 など               | 3.7  | 14.3 | 10.5 | 10.4 | 5.9  | 9.0  |
| G | 自転車・鉄棒・ボール など               | 5.5  | 12.5 | 9.3  | 6.0  | 11.8 | 9.0  |
| H | 昆虫・動物・ など                   | 8.3  | 2.7  | 3.5  | 7.5  | 5.9  | 5.7  |
| I | 自動車・お金 など                   | 5.5  | 1.8  | 3.5  | 3.0  | 4.4  | 3.6  |
| J | おしゃれ                        | 0    | 3.6  | 2.3  | 1.5  | 1.5  | 1.8  |
| K | 友だち・同輩                      | 0.9  | 3.6  | 1.2  | 3.0  | 2.9  | 2.2  |
|   |                             | 100% | 100% | 100% | 100% | 100% | 100% |

- 対する子どもと親の態度」(日本保育学会第24回大会論文集掲載)で発表したもので、今回は省略するが、三歳男児はTVに興味を示し、女児は歌を歌ったり、ピアノをひいたり活動的である。四歳児は男女とも、絵本など言語面に興味をもつ。五歳児になると、発達の要求と母親の要望が一致するためか、急に文字・数などに興味をもち始める。女児が運動遊びに興味を示すのは好ましいが、それに比べ男児が消極的で受動的な傾向を示しているのは問題であろう。(第四表)
- (2) 興味をもった動機については、親や兄弟などの家族に影響されるのは当然だが、男児では年齢に関係なくTVの影響を見のがすことができない。四歳児になれば、就園による幼稚園・保育所の影響が現われ、五歳児ともなれば、友だちからの影響が大きくなり、個人的な好みもはっきり表現されるために、「そのもの自身が好き」となっている。
- (3) 興味出現の時期と頻度については、男児

第五表 興味に対する親の関心 (単位 %)

| 項 目 |                        | 男 児  | 女 児  | 3 歳児 | 4 歳児 | 5 歳児 | 全 体  |
|-----|------------------------|------|------|------|------|------|------|
| よ い | 夢がある、やさしくなる、<br>社会性が育つ | 44.5 | 61.3 | 55.8 | 45.0 | 54.1 | 52.0 |
| 困 る | あぶない、うるさい、きたない、しんどい    | 15.5 | 11.4 | 11.7 | 15.0 | 14.8 | 13.6 |
| 助かる | 世話がかかからない、外で遊ぶから助かる    | 6.4  | 3.4  | 2.6  | 8.3  | 4.9  | 5.1  |
| 当 然 | 年齢だから、男・女だから、時代の影響     | 31.8 | 21.6 | 28.6 | 26.7 | 26.2 | 27.3 |
| な し |                        | 1.8  | 2.3  | 1.3  | 5.0  | 0    | 2.0  |
|     |                        | 100% | 100% | 100% | 100% | 100% | 100% |

- では時期的に早く出現し一歳児から五歳児まで続き、三歳児を中心に興味の頻度も集中する傾向がある。女兒ではあらゆるものに興味をもってはいるが、出現の後期は、一歳半過ぎごろからであり、三歳ごろを中心として遊びの種類が交替し始め、一つの遊びについての頻度は必ずしも高くはない。
- (4) 持続時間は、幼児が興味をもっていることであるため、長くなるのは当然だが、男児では約52%が二時間以上も一つのことに興味をもち、しかも、年齢が長ずるにしたがって長くなっている。女兒の場合は、二時間以上ともなると、約37%弱しかなく、だいたいは一時間以内で他の興味に移行している。
- (5) 幼児の興味に対する親の関心については、だいたい子どもに対して好意的であるが、「困る」という理由では、うるさい・きたないなど親本位の考え方が多いようである。(第五表)
- (6) 生活への影響という点では、技術の向上・集中などにとって有利なものであれば「好ましい」とし、日常生活がこわされるような点、たとえば、食事をしない・だだをこねる・泣く・親がくたびれるなどについては、「好ましくない」としている。両者の割合は、「好ましい」が約48%、「好ましくない」が約37%となり、男児より女兒の方がやや有利な面がみられる。
- (7) 以前にもっていた興味については、前記の(1)と同様に、男

児ではミニカー・怪獣人形であり、女兒では人形などとなっている。現在の年齢より低くなるので、積木などへの興味より、動くものや、投げたり、さわったり、持ち歩くなどあらゆるものを試し、動かすことに興味を覚えているのである。文字・数などには興味を示していないが、絵本や童話などには早くから興味を示している。

## 二、日常生活場面の観察によって得た幼児の言動に対する母親の反応について

(A) 第六表は、母子の言動の分類法を示したものである。母子の接触度を見ると、観察対象の80%が接触不良となっている。

第七表によれば、子どもの言動のうち全体としては「遊び」で最も多く現われ、四歳児では、なぜ・どうして?の「質問」が第一位に現われ、「要求」は第三位である。興味をもって行なうとき、幼児にとつてそれは遊びとなり、あらゆるものに好奇心・探究心をもつ幼児ならば「質問」も「要求」もこの年齢にふさわしいものであろう。

第八表は、母親の反応の仕方を示しているが、「静かにしなさい」とか、子どもの質問に無関係な「風呂へ入りなさい」などと命令し、「放っておく」、「ママの子でない」など脅迫し

たり、「教えたでしょ」、「甘えないの」と強迫する。一応叱りながら妥協してみたり、集中して遊んでいるのに、「困った子」・「わからん子」・「人に笑われるよ」などと批判したり、恥辱を与えたりしている場合が多い。

(B) 接触良好の母子はわずか30%だから統計的に有意ではないだろうが、接触不良の母子の言動と比較してみよう。

(1) 対話の仕方では、接触不良グループの母子は一回だけの単文形式であるが、良好グループの母子では、少なくとも四回以上のやり取りがみられる。

(2) 接触良好グループの母子の会話形式は、互いに複交が用いられ、幼児のことばも語いが豊富である。

(3) 話の内容としては、身近な小動物・生活科学的事象などが多く話題になっている。

(4) 対話のふんい気では、不良グループが投げやりのなのに対し、良好グループは、楽しい、ほほえましいユーモアのあるようすがうかがわれる。「看護婦さんで、どんなことするの」

「お医者さんは偉いね」などと人の好意や仕事にも関心を示す子どもに対し、母親は仕事の内容や、心情などを幼児に理解しやすいことばで語りかけている。「お父さんは誰から生まれたの」「誰のおじいちゃんなの」「お母ちゃん小さいとき、なん

第六表 子どもの言動

| 大項目       | 小項目        | 内 容   |
|-----------|------------|---|
| 身 体 的 行 為 | 遊 び        | 同じ遊びのくりかえし<br>(怪じゅう・人形・ま<br>まごと・プラモデル・<br>砂あそび・水あそび・<br>積木 など)<br>ボール遊び, 走る, 歌<br>をうたう, ピアノをひ<br>く, 小動物・昆虫をさ<br>わる など |
|           | 行 動<br>攻 撃 | すわる, 立つ, 寝る,<br>食べる など<br>ひっぱる, たたくなど   |
| 言 語 的 行 為 | 要 求        | 遊ぼう, ○○しよう,<br>○○してほしい,<br>(読んで, 見て など)<br>行こうよ,<br>○○できたよ など   |
|           | 質 問        | ○○だね, ○○じゃあ<br>ないの,<br>(お日さんだね, なん<br>で入るっていうの,<br>特急だね, なんで○○<br>なの, 石ころばかりや,<br>なんでなの など)                           |
|           | 呼びかけ       | ただいま,<br>お母さん, ママ,<br>ねえー など  |
|           | 拒 否<br>買 収 | いや<br>買ってくれたら など  |
| そ の 他     |            | いいねー<br>週刊誌などをみるなど  |

母親の言動

| 大項目       | 小項目 | 内 容  |
|-----------|-----|--|
| 言 語 的 反 応 | 命 令 | 静かにしなさい, 黙っ<br>ていなさい, すわりなさい,<br>○○しなさい, 早く寝な<br>さい など   |
|           | 禁 止 | だめ, ○○したらだめ,<br>やめなさい など   |
|           | 脅 迫 | 泣いたらもっとおこるよ<br>わからんのか, いいかげ<br>んにしなさい, 一人でい<br>なさい, 放っておくよ,<br>おくらへ入れるよ, 知ら<br>ん, 買ってあげない,<br>ママの子でない, ○○に<br>なるよ など |
|           | 批 判 | しょうがない子, あほな<br>子, 困った子, ききわけ<br>ない子, うるさい子, わ<br>からん子, ○○ちゃん悪<br>い子ヨ など   |
|           | 恥 辱 | みんなが見ているよ, 笑<br>われるよ, 誰もしてない<br>よ など   |
|           | 体 裁 | 行儀悪い, みっともない,<br>かっこ悪い など  |
|           | 買 収 | ○○してあげるから○○<br>しなさい, 買ってあげる<br>から静かにしなさいなど   |
|           | 強 迫 | 約束でしょ, 甘えないの,<br>教えたでしょ, 終りよ,<br>あるでしょ など  |
|           | 妥 協 | 一回だけよ, チョットだ<br>けよ, そうねー, ハイハ<br>イ など  |
|           | 容 認 | いやらしい, かなわんワなど   |
| 身 体 的 反 応 | 体 罰 | 平手うち, 火(タバコなど)<br>を近づける, つねる, 外へ<br>出す, 無理に取り上げる,<br>無理にかかえて引き離す など  |
|           | 買 収 | 食べ物などを与える など   |
| 放 任 無 視   |     | 黙って新聞・雑誌などを<br>読む, 知らん顔で他人と<br>おしゃべり など  |
| そ の 他     |     | ママと遊ぼう, どうして<br>そうなの, 1000円もする<br>のよ, うるさい など  |

第七表 子どもの言動

| 項 目                   |         | 男 児   | 女 児   | 3 歳児  | 4 歳児  | 5 歳児  | 全 体   |
|-----------------------|---------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| 身<br>体<br>的<br>行<br>為 | 遊 び     | 28.9% | 31.9% | 36.7% | 23.5% | 27.5% | 30.4% |
|                       | 行 政     | 11.5  | 12.4  | 11.9  | 11.9  | 11.9  | 12.0  |
|                       | 攻 撃     | 3.3   | 1.2   | 2.9   | 1.8   | 1.6   | 2.3   |
| 言<br>語<br>的<br>行<br>為 | 要 求     | 16.4  | 20.4  | 18.6  | 20.2  | 15.5  | 18.4  |
|                       | 拒 否     | 11.5  | 13.4  | 11.2  | 12.7  | 14.5  | 12.4  |
|                       | 呼 び か け | 3.3   | 3.2   | 3.2   | 2.2   | 4.7   | 3.2   |
|                       | 質 問     | 21.8  | 16.5  | 13.3  | 25.8  | 21.7  | 19.2  |
|                       | 買 収     | 0     | 0.5   | 0.3   | 0.4   | 0     | 0.2   |
|                       | そ の 他   | 3.3   | 0.5   | 1.9   | 1.5   | 2.6   | 1.9   |

第八表 子どもの言動に対する母親の反応

| 子どもの言動                |     | 母親の反応 |    |    |    |    |      |    |    |     |    |
|-----------------------|-----|-------|----|----|----|----|------|----|----|-----|----|
|                       |     | 遊び    | 行動 | 攻撃 | 要求 | 拒否 | 呼びかけ | 質問 | 買収 | その他 | 全体 |
| 言<br>語<br>的<br>反<br>応 | 命 令 | ◎     | ◎  | ●  | ◎  | ◎  | ○    | ●  |    | ○   | ◎  |
|                       | 禁 止 | ◎     | ○  | ○  | ◎  | ●  | ●    | ●  |    | ●   | ◎  |
|                       | 脅 迫 | ◎     | ○  |    | ◎  | ○  |      | ●  |    |     | ◎  |
|                       | 批 判 | ◎     |    | ●  | ○  |    |      |    |    |     | ○  |
|                       | 恥 辱 | ◎     | ●  |    |    |    |      |    |    |     | ●  |
|                       | 体 裁 | ○     | ○  |    |    |    |      |    |    |     | ●  |
|                       | 買 収 | ○     |    |    | ○  | ◎  |      |    | ●  |     | ○  |
|                       | 強 迫 | ◎     | ○  | ●  | ◎  |    |      | ◎  |    | ●   | ◎  |
|                       | 妥 協 | ◎     | ●  |    | ◎  |    | ●    | ◎  |    | ○   | ◎  |
| 容 認                   | ◎   | ○     |    | ○  |    | ○  | ◎    |    |    | ○   |    |
| 反<br>身<br>体<br>的      | 体 罰 | ◎     | ◎  | ●  |    | ○  |      |    |    |     | ○  |
|                       | 買 収 | ○     |    |    |    | ●  |      |    |    |     | ●  |
| 放任・無視                 |     | ◎     | ◎  | ○  | ◎  | ○  | ○    | ◎  |    |     | ◎  |
| そ の 他                 |     | ◎     | ◎  | ○  | ◎  | ●  | ●    | ◎  |    | ●   | ◎  |
| 全 体                   |     | ◎     | ◎  | ○  | ◎  | ◎  | ○    | ◎  | ●  | ○   |    |

◎ 非常に多い    ◎ しばしば    ○ よく    ● 少し

でばくいなかったの」など家族関係の複雑さや、「神さんが、どうやって私をこしらえたの」など生命の神秘についても興味を示している。母親は子どもと一緒に考えたり、相談したり、答えを希望に移行させたり、神秘に共感したりしているのである。

## 結語

子どもの興味について母親はある程度の関心を示してはいるが、興味が子どもの発達にとって重要だという意味を十分に理解していないようである。家屋構造や家族構成の変化により、遊具やおもちゃがミニチュア化しているが、男児に怪獣などの人形が早くから与えられることによって、創造的・活動的遊びが減少しているのではないだろうか。女性の解放は女児の活発な運動を容認し、ままごとでも積極的に友だちを求めて遊び、遊戯活動は興味を盛んにし、知的学習へも積極性を現わす傾向がみられる。男児の場合、数の上では少ないにしても、自然や科学に対する興味は女児よりも深く、時間的にも興味の持続性がある。この点に、周囲のおとなの関心を高めるならば、子どもの興味に対しさらに積極的に働けるのではないだろうか。実際の母親の言動をみれば、子どもはどこでどうやって遊べば

わりに自由に遊べるかを知ることよりも、母親の都合で行動せざるを得なくなる。したがって幼児の語いも乏しく、行動も消極的になり、小ぎれいにまとまってはいても、遊びの内容は変化に乏しく、新しい遊びを創造することができなくなるのではなからうか。幼児期は男女の区別なく、大きな社会的なわくの中で遊びを自由を選択させ、遊びや生活の中で子どもが示す興味について、真の価値を見いだした親たちの示す関心が、より創造的な、たくましい人間を作り出すのではなからうか。

(神戸常盤短期大学)